

目次

□巻頭言 農業基盤整備と機械化施工……………内藤克美/1

建設技術評価制度による昭和56年度の成果……………横内秀明/2

ノモグラム利用による建設騒音予測法……………太田友宏/8

八丁原地熱発電の現状……………楠兼一/14

超急曲線・長大トンネルを掘進したシールド掘進機の実績——東電・京浜潮田線(第6工区)……………中島章治/19

曲線柱を有する巨大空間構造体の鉄骨工事……………寺田哲也/26

——神慈秀明会滋賀神苑建設工事

グラビア——曲線柱を有する巨大空間構造体の鉄骨工事  
・神慈秀明会滋賀神苑工事

軟弱不整地におけるアーティキュレートダンプトラックの運土実績……………小林茂則/33

□随想 夏の出来事に思う……………田付茂男/38

農業水利管路工事における簡易土留工法……………渡辺重文/40

建設発生土利用によるソイルモルタルの品質管理と施工

——横浜市高速鉄道3号線新横浜駅工区土木工事

……………池田正隆/46

……………須藤成明

超高周波杭打機の研究開発……………北川原野親/53

GTR チョップ制御式バッテリーロコの実用化……………佐藤幹雄/59

……………鷹野輝雄

□新機種ニュース……………調査部会/64

□文献調査

建設廃棄物のリサイクル装置……………文献調査委員会/70

□整備技術

建設機械の再生, オーバホール, 再組立についての評価(つづき)……………整備技術部会/72

□統計

建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移……………調査部会/74

行事一覧……………/75

編集後記……………(酒井・佐藤)/78

◀表紙写真説明▶

トヨタ・バーバークリーン  
2SBE111型  
アスファルトフィニッシャー

製造 株式会社豊田自動織機製作所  
販売 極東貿易株式会社

本機は新開発の油圧式伸縮スクリーン「エキステンダマット」付の新型フェニッシャーで、舗装幅の調整が自由自在にできるため、従来のようなエキステンション脱着が不要で、作業時間が大幅に短縮でき、さらに幅員の変化する道路での舗装作業が簡単にできる。なお、エキステンダマットの5大ポイントは、エキステンション機構、ハイトアジャスト機構、スローブクレーン機構、スクリーン全域におたる加振・加熱装置、高さ調整可能なプレストライクオフである。

また本機の主な特長は、①全油圧方式、ホイールタイプで車検登録可能、②プロパンガスによるスクリーンの均一加熱、③視界の広い左右移動式運転席、④耐久性にすぐれた独自のスクリーンプレート、⑤高性能トヨタディーゼルエンジン2H型搭載などである。

◀主要諸元▶

舗装幅員……………	2.0~4.8 m
定格出力……………	70 PS/2,100 rpm
舗装速度……………	0~40 m/min
総重量……………	11,000 kg

◀既刊目次一覧(昭和57年1月号~12月号)▶